令和7年度　文部科学省委託事業

「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
（人口減少地域の職業人材を確保するための
専修学校振興プログラム）
[人口減少地域の職業人材を確保するための
専修学校の教育モデル開発]

委託事業全体成果報告書
成果物
「シラバス」

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、≪学校法人イデア熊本アジア学園イデアITカレッジ阿蘇≫が実施した令和7年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」の成果をとりまとめたものです。

学校法人イデア熊本アジア学園
イデアITカレッジ阿蘇

納品概要

■シラバス

①ITマーケティング科目群（TD学科及びITB学科）　6科目

②IT・AIエンジニア科目群（ITS学科）　7科目

※IoTとデータ活用はⅠとⅡの2科目換算

③IT国際科目群（IT国際学科）　4科目

合計　17科目　409コマ

【教材作成及び実証授業の実施業務の概要】

全体カリキュラム

科目名など授業内容に合わせ再調整を実施。

また、R8年度から単位制へ変わることから、時数換算ではなく授業回数（コマ数）にて再編。**※青字科目が本年度実証授業となる。**

科目コース		科目名	教育の力/ポリシー	科目の領域	新規/改訂	科目概要	授業回数
①ITマーケティング科目群 地域観光デザイン学科およびITビジネス学科に導入	1	**地域課題実践プロジェクト**	専門力/実践スキル	地域創生ビジネス	改訂	地域課題解決に向けた商品開発	16
	2	**観光ビジネスDX⇒地域商品開発**	専門力/ITリテラシー	デジタルスキル	改訂	観光分野におけるIT活用、DX事例を学習	16
	3	**マーケティングと企画立案**	専門力/ビジネススキル	マーケティング	新規	マーケティングのフレームワークの習得	20
	4	**SNSとデザイン実践**	専門力/実践スキル	クリエイティブ	新規	SNSや販促に活用する制作物の作成	30
	5	**AIとWebデザイン**	専門力/ITリテラシー	生成AIスキル	新規	AIを活用したWebサイト制作	20
	6	**WebライティングとAIO**	専門力/AIリテラシー	情報発信	新規	AIOを意識したWebでの発信スキル	16
②IT・AIエンジニア科目群 ITソリューション学科に導入	1	**地域課題×IT**	専門力/実践スキル	地域創生ビジネス	改訂	デザインシンキング、ITソリューション	16
	2・3	**IoTとデータ活用Ⅰ・Ⅱ** **※対象学年が別のため2科目実施**	専門力/ITリテラシー	データ分析・IoT	改訂	IoT基礎知識、データ分析スキル	32
	4	**データ分析とノーコード開発**	専門力/AIリテラシー	データ分析・BI	新規	情報分析、情報可視化フレーム習得	30
	5	**業務アーキテクチャ設計**	専門力/システム設計	業務分析・効率化	新規	実務を可視化し、最適な仕組みを設計	15
	6	**生成AI利活用スキル**	専門力/AIリテラシー	生成AIスキル	新規	AIを活用した業務効率実践	30
	7	**生成AIソリューション**	専門力/AIリテラシー	生成AIスキル	新規	AIを活用したシステム開発とソリューション提案	15
③IT国際科目群 IT国際学科に導入予定（R8年4月開設）	1	**プレゼンテーション実習**	専門力/日本語力	専門的な日本語力	新規	日本語の運用スキルの習得	30
	2	**ITと観光業界の基礎**	専門力/日本語力	専門的な日本語力	新規	業界の理解や専門用語の習得	30
	3	**ビジネスコミュニケーション**	専門力/実践スキル	ビジネススキル	新規	インターンシップや就労を見据えたコミュニケーション	30
	4	**インターネットと情報リテラシー**	専門力/ITリテラシー	ITスキル	新規	ITを学ぶ上での基礎となる知識の獲得	60
	17				新規12科目/改訂5科目		406

シラバス開発 (ITマーケティング科目群)

専門学校イデアITカレッジ阿蘇

学習支援計画書（シラバス）

授業科目名：地域課題実践プロジェクトⅠ	講師名（企業名）：久保尭之
地域観光デザイン学科　専門・必修・学科別	1年次　後期　16コマ(32時数,2単位)

◆授業形態

・5_△講義〇演習
・教材（購入は要事前相談）：講師にて作成

◆概要

地方創生の現場では、大小さまざまなイベントを企画し、運営するスキルが求められる。そこで、本科目では地域課題の分析を行い、そのステークホルダーと実際に協議・調整を行い、課題解決に資するイベントを自ら企画し、段取りを行い、実際に実践するまでの一連の流れに取り組む。また、その成果を適切に評価する手法を学ぶ。
※1年、2年の合同実施科目。1年生は手法を学び、2年生はリーダーシップを発揮して主体的にマネジメントすることを目指す。

◆到達目標

・イベントの企画立案、オペレーション設計、マニュアル作成、実際の運営までが滞りなくできること
・学外の方々を巻き込む適切なコミュニケーションや段取り調整が行えること
・CSV（Creating Shared Value）の発想に基づき、イベントの賑わいと地域課題解決の両立を図ること

◆授業計画

コマ	オンライン受講	フィールドワーク	授業内容
1	×不可	×No	イントロダクション
2	×不可	×No	地域課題の分析
3	×不可	×No	地域イベントのコンセプト設計・企画立案
4	×不可	×No	地域イベントのコンセプト設計・企画立案
5	×不可	×No	地域イベント運営マニュアルの作成
6	×不可	×No	地域イベント運営マニュアルの作成
7	×不可	×No	広報プロモーション
8	×不可	×No	広報プロモーション
9	×不可	×No	地域イベントの準備
10	×不可	×No	地域イベントの準備
11	×不可	×No	地域イベントの実施
12	×不可	×No	地域イベントの実施
13	×不可	×No	地域イベントの実施
14	×不可	×No	地域イベントの実施
15	×不可	×No	振り返りとまとめ
16	×不可	×No	振り返りとまとめ

成績評価基準	出席率_20% 授業態度_20% レポート・提出物_20% 小テスト・実技評価_40% ※中間試験_0% ※期末試験_0% ※通期科目は必ず前/後期それぞれで評価を行う事。

専門学校イデアITカレッジ阿蘇

学習支援計画書（シラバス）

授業科目名：地域商品開発	講師名（企業名）：久保堯之
地域観光デザイン学科　専門・必修・学科別	2年次　後期　16コマ(32時数,2単位)

◆授業形態

・7_△講義〇実習・実技
・教材（購入は要事前相談）：講師にて作成

◆概要

本授業では、地域資源を活かした商品開発の基礎知識を学びながら、実際に道の駅で販売可能なご当地商品を企画・試作・提案することを目指す。地域の素材や文化、顧客ニーズを踏まえて発想力を高め、売れる商品を作るための視点やスキルを実践的に習得する。

◆到達目標

・地域資源や市場ニーズを踏まえた商品アイデアを発想できるようにする。
・商品の企画から試作、パッケージ、価格設計までを一貫して構想できるようにする。
・地域の関係者に向けた企画発表・提案ができるようにする。

◆授業計画

コマ	オンライン受講	フィールドワーク	授業内容
1	×不可	×No	イントロダクション：ご当地商品とは
2	×不可	×No	開発課題の整理・既存調査結果の共有と深掘り
3	×不可	×No	商品コンセプトシート・クリエイティブプランの作成
4	×不可	×No	商品コンセプトシート・クリエイティブプランの作成
5	×不可	×No	試作①：素材の選定・形状や味の検討・簡易サンプルづくり
6	×不可	×No	試作①：素材の選定・形状や味の検討・簡易サンプルづくり
7	×不可	×No	試作②：試作・改善点の洗い出しと再試作準備
8	×不可	×No	試作②：試作・改善点の洗い出しと再試作準備
9	×不可	×No	試作③：改良版試作品の制作・パッケージ案の検討・POP設計
10	×不可	×No	試作③：改良版試作品の制作・パッケージ案の検討・POP設計
11	×不可	×No	テスト販売の準備
12	×不可	×No	テスト販売の準備
13	×不可	×No	テスト販売の改善
14	×不可	×No	テスト販売の改善
15	×不可	×No	結果のまとめ・改善提案と振り返り
16	×不可	×No	結果のまとめ・改善提案と振り返り

成績評価基準	出席率_20% 授業態度_20% レポート・提出物_20% 小テスト・実技評価_40% ※中間試験_0% ※期末試験_0% ※通期科目は必ず前/後期それぞれで評価を行う事。

専門学校イデアITカレッジ阿蘇

学習支援計画書（シラバス）

作成日：2026年02月20日

授業科目名	マーケティングと企画立案	授業コード	

講師名	久保 尭之	授業形態	対面	単位数	2
対象学科	ITビジネス学科 専門科目	学年・時期	1年次 後期		

◆概要

マーケティングの基礎やフレームワークを学び、事業の企画立案をおこなう。予算書の作成などもおこない、数字を意識した企画やビジネスの立案ができることを目指す。

◆到達目標

1. マーケティングの基礎知識とフレームワークの理解
2. 事業企画立案に必要な思考プロセスと実践スキルの習得
3. 数字に基づいた予算作成とビジネス計画の策定能力の獲得

◆授業計画

コマ	授業内容
1	ガイダンスと科目概要、学習目標共有
2	マーケティングの基本概念と重要性
3	市場の外部環境分析（PEST分析）
4	内部環境分析（SWOT分析）と戦略
5	顧客理解、セグメンテーションとターゲティング
6	製品・サービスのポジショニング戦略
7	マーケティングミックス4P、製品戦略
8	価格戦略とプロモーション戦略の基礎
9	流通戦略、サービスマーケティング7P
10	ビジネスモデルキャンバスによる事業設計
11	企画のアイデア発想法と実践演習
12	事業企画書の構成と作成ポイント
13	予算作成の基礎、収益と費用、利益
14	損益分岐点分析、事業性の数値化
15	グループによる事業企画立案開始
16	企画内容の検討と具体的な予算計画
17	企画書の作成とプレゼン資料準備
18	企画書とプレゼンの最終調整
19	事業企画発表会（プレゼンテーション）
20	総合フィードバック、質疑応答と振り返り

◆成績評価基準

出席率50%／授業態度10%／レポート・提出物40%／小テスト評価0%／中間期末試験なし

◆使用する教科書・教材

◆受講生へのメッセージ/注意事項

出席率が3分の2に満たない場合、成績がつかない（不合格）となる可能性があります。

専門学校イデアITカレッジ阿蘇

学習支援計画書（シラバス）

作成日：2026年02月16日

授業科目名	SNSとデザイン実践	授業コード	

講師名	廣瀬 実華	授業形態	対面	単位数	3
対象学科	ITビジネス学科 専門科目	学年・時期	1年次 通年		

◆概要

SNSマーケティングの基本的な知識から学び、Canvaなどのデザイン制作ツールの活用方法について学ぶ。SNSに投稿する画像などクリエイティブの作成スキルから販促に活用するチラシやPOPなどの制作までおこなう。

◆到達目標

1. SNSマーケティングの基本概念と戦略立案手法の理解
2. Canva等のデザインツールを用いたクリエイティブ制作技術の習得
3. SNS投稿用画像、販促用チラシ、POP等のデザイン実践能力の確立

◆授業計画

コマ	授業内容
1	オリエンテーションと本講義の目的
2	SNSとは何か、その役割と種類
3	SNSマーケティングの基礎概念
4	SNSの活用事例と成功要因
5	Canvaの基本操作とインターフェース
6	デザインの基本原則：レイアウトと構成
7	デザインの基本原則：色とフォントの選び方
8	写真・画像の素材活用と著作権
9	SNS投稿用画像作成の実践1：基本構成
10	SNS投稿用画像作成の実践2：テキストと装飾
11	Instagram向けクリエイティブ制作
12	X（旧Twitter）向けクリエイティブ制作
13	Facebook向けクリエイティブ制作
14	ストーリー・リール動画の作成基礎
15	動画編集の基本操作とエフェクト
16	効果的な見出しとキャッチコピーの工夫
17	ターゲット層に響くデザイン戦略
18	デザイン制作におけるブランドイメージ統一
19	データの読み方とデザイン改善の基礎
20	デザインポートフォリオ制作の準備
21	販促用チラシ作成の実践1：構成と情報整理
22	販促用チラシ作成の実践2：デザインと配置
23	POP制作の実践1：アイキャッチデザイン
24	POP制作の実践2：情報伝達の工夫
25	プレゼンテーション資料のデザイン基礎
26	SNSキャンペーン企画とデザイン制作
27	総合課題：実践的なデザイン制作プロジェクト
28	総合課題：デザイン制作プロジェクト発表準備
29	総合課題発表とフィードバック
30	学習内容の総括と今後の展望

◆成績評価基準

出席率50%／授業態度10%／レポート・提出物40%／小テスト評価0%／中間期末試験なし

◆使用する教科書・教材

◆受講生へのメッセージ/注意事項

出席率が3分の2に満たない場合、成績がつかない（不合格）となる可能性があります。

専門学校イデアITカレッジ阿蘇

学習支援計画書（シラバス）

作成日：2026年02月20日

授業科目名	AIとWebデザイン	授業コード	

講師名	廣瀬 実華	授業形態	対面	単位数	2
対象学科	ITビジネス学科 専門科目	学年・時期	1年次 後期		

◆概要

Webサイト制作においても広く活用されるようになったAI。ノーコードWebサイト開発ツール「Studio」を使用し、AIを活用しながら各自のポートフォリオサイトの制作をおこなう。

◆到達目標

1. AIを活用したWebデザインの基礎知識と原則の理解
2. ノーコードWebサイト制作ツールStudioの操作方法習得
3. AI支援による自身のポートフォリオサイトの企画・制作・発表

◆授業計画

コマ	授業内容
1	Webデザイン概要と本授業の目標理解
2	AIとWebデザインの関連性および可能性
3	ノーコードツールStudioの基本操作習得
4	Studioを用いたページ構成とレイアウト作成
5	Webデザインの基本原則と視覚要素の調整
6	ワイヤーフレーム作成とAIによるデザイン補助
7	AIデザインツールの活用とデザインシステム
8	テキスト要素の最適化とフォント選定
9	画像・動画素材の選定と配置、AI編集
10	アニメーションとインタラクションの基礎
11	レスポンシブデザインの考え方と実装
12	Studioでのモバイル対応と表示調整
13	ポートフォリオサイトの企画と構成立案
14	AIを活用したコンテンツ生成とライティング
15	AIによるデザイン提案とサイト全体の調整
16	Webサイトの公開準備とドメイン設定
17	アクセシビリティとユーザビリティの確認
18	AIO対策の基礎とAIによる改善提案
19	ポートフォリオサイト発表と相互評価
20	制作物の振り返りと今後の学習計画策定

◆成績評価基準

出席率50%／授業態度10%／レポート・提出物40%／小テスト評価0%／中間期末試験なし

◆使用する教科書・教材

◆受講生へのメッセージ/注意事項

出席率が3分の2に満たない場合、成績がつかない（不合格）となる可能性があります。

専門学校イデアITカレッジ阿蘇

学習支援計画書（シラバス）

作成日：2026年02月16日

授業科目名	**Web**ライティングと**AIO**	授業コード	

講師名	廣瀬 実華	授業形態	対面	単位数	2
対象学科	地域観光デザイン学科　専門科目	学年・時期	2年次 通年		

◆概要

主にホームページ上における情報発信を念頭に、AI Optimization（AIO）を意識したライティングスキルを学ぶ。AIを活用しながら、実際にインタビューをおこない、記事の執筆までおこなう。

◆到達目標

1. Webにおける情報発信の基礎とAI Optimization (AIO) の概念を理解すること
2. AIツールを活用した効果的なWebライティングスキルを習得すること
3. インタビューを通じた記事企画から執筆、公開までの一連のプロセスを実践すること

◆授業計画

コマ	授業内容
1	Webライティングの基礎と役割の理解
2	AI Optimization (AIO) の基本概念学習
3	読者ターゲット設定と情報収集方法の習得
4	AIライティングツールの種類と基本操作
5	読者を惹きつける記事構成の企画と作成
6	AIを活用した効果的な文章生成演習
7	情報の信頼性確保とファクトチェック技術
8	インタビュー準備と質問作成の基礎
9	インタビューの実践とロールプレイング
10	インタビュー内容のテキスト化と要約技術
11	インタビュー記事の執筆と構成調整
12	AIによる記事の推敲および校正支援
13	Webサイトへの記事公開プロセス学習
14	著作権、倫理規範と情報発信の責任
15	最終記事の発表準備と相互評価
16	記事の発表と振り返り、質疑応答

◆成績評価基準

出席率50%／授業態度10%／レポート・提出物40%／小テスト評価0%／中間期末試験なし

◆使用する教科書・教材

◆受講生へのメッセージ/注意事項

出席率が3分の2に満たない場合、成績がつかない（不合格）となる可能性があります。

シラバス開発 (IT･AIエンジニア科目群)

専門学校イデアITカレッジ阿蘇

学習支援計画書（シラバス）

授業科目名：地域課題×IT	講師名（企業名）：小山　善文
ITソリューション学科専門・必修・学科別	1,2年次後期16コマ(32時数,2単位)

◆授業形態

・7_△講義〇実習・実技
・教材（購入は要事前相談）：オリジナル

◆概要

本科目では、地域課題のいくつかについて取り上げ、その現状分析とITを活用した課題解決方法を学びます。事例紹介を通じてデザインシンキングやストーリーテリングの基礎を理解し、仮説検証モデルを構築します。

フィールドワークで現場の課題を再認識し、効果のあるデータ収集・分析方法についても考えながら、課題解決のストーリーを
作成します。発表準備を通じて仮説とその検証方法をプレゼンテーションするスキルを磨きます。

◆到達目標

・地域課題×ITの検討の現状について、1年生に説明できる
・現状の課題をもとに、仮説・検証モデルをつくる
・解決にむけたストーリーを作成し、資料としてまとめる
・発表をおこない、フィードバックを得る

◆授業計画

コマ	オンライン受講	フィールドワーク	授業内容
1	×No	×No	オリエンテーションと目的設定
2	×No	×No	地域課題×ITの現状分析と課題
3	×No	〇Yes	事例紹介
4	×No	×No	事例における課題発見とアイデア創出(1)
5	×No	×No	事例における課題発見とアイデア創出(2)
6	×No	×No	仮説とその検証モデルづくり(1)
7	×No	×No	仮説とその検証モデルづくり(2)
8	〇Yes	×No	ストーリーテリングの基本
9	×No	〇Yes	フィールドワーク
10	×No	×No	仮説とその検証モデルの見直し(1)
11	×No	×No	仮説とその検証モデルの見直し(2)
12	×No	×No	ストーリー作成(1)
13	×No	×No	ストーリー作成(2)、データ収集・分析方法の整理
14	×No	×No	発表準備(1)
15	×No	×No	発表準備(2)
16	×No	×No	成果発表とフィードバック

成績評価基準	出席率_10%授業態度_10%レポート・提出物_80%小テスト・実技評価_0% ※中間試験_0%※期末試験_0%　**※通期科目は必ず前/後期それぞれで評価を行う事。**

専門学校イデアITカレッジ阿蘇

学習支援計画書（シラバス）

授業科目名：IoTとデータ活用　I	講師名（企業名）：西川　徹
ITソリューション学科専門・必修・学科別	1年次後期16コマ(32時数,2単位)

◆授業形態

・4_○講義△演習

・教材（購入は要事前相談）：講義に関しては自作教材、機材に関しては1年時もしくは2年次後期に必要となる可能性あり

◆概要

IoTとデータ活用Ⅰ（1年次後期）

・IoTおよびデータ概要およびIoTデータ収集演習（土壌センサー、画像センサー）

・データ分析前提知識（統計、数学、Excel）およびデータ分析基礎

◆到達目標

・IoTおよびデータの概念の理解およびデータ分析に必要な基本的知識の修得

・データ分析の演習を行うことによる分析基本スキルの修得

・外部公開データおよびIoT収集データを用いてデータ分析実践を行うことによる分析応用スキルの修得

◆授業計画

コマ	オンライン受講	フィールドワーク	授業内容
1	○Yes	×No	【AI・IoT技術の基礎】科目の目的、概要、および全体の授業計画についての説明。
2	○Yes	×No	【データの概念】IoTにおけるデータ、データの扱い方
3	○Yes	×No	【IoTシステム構築①】 サーバー基礎
4	○Yes	×No	【IoTシステム構築②】 ネットワーク基礎
5	○Yes	×No	【IoTシステム構築③】 土壌データ基礎　土壌センサー
6	○Yes	×No	【IoTシステム構築④】 画像データ基礎　画像センサー
7	○Yes	×No	【データ分析基礎①】 データ分析概要
8	○Yes	×No	【データ分析基礎②】 データ分析のための基礎知識
9	○Yes	×No	【データ分析基礎③】 データ分析のための基礎演習
10	○Yes	×No	【データ分析基礎④】 回帰分析①　単回帰分析
11	○Yes	×No	【データ分析基礎⑤】 回帰分析②　単回帰分析演習
12	○Yes	×No	【データ分析基礎⑥】 回帰分析③　重回帰分析
13	○Yes	×No	【データ分析基礎⑥】 回帰分析④　重回帰分析　各種近似
14	○Yes	×No	【データ分析基礎⑦】 回帰分析⑤　重回帰分析演習
15	○Yes	×No	【まとめ1】 データ分析基礎まとめ　課題説明
16	○Yes	×No	【まとめ2】 課題発表

成績評価基準	出席率_50%授業態度_20%レポート・提出物_20%小テスト・実技評価_10%

専門学校イデアITカレッジ阿蘇

学習支援計画書（シラバス）

2025年3月31日

授業科目名：IoTとデータ活用　Ⅱ	講師名（企業名）：西川　徹
ITソリューション学科専門・必修・学科別	2年次通期32コマ(64時数,4単位)

◆授業形態

・4_○講義△演習

・教材（購入は要事前相談）：講義に関しては自作教材、機材に関しては1年時もしくは2年次後期に必要となる可能性あり

◆概要

IoTとデータ活用Ⅱ（2年次）

・外部公開データを用いたデータ分析演習（前期）

・IoT収集データを用いたデータ分析演習（後期）

◆到達目標

・IoTおよびデータの概念の理解およびデータ分析に必要な基本的知識の修得

・データ分析の演習を行うことによる分析基本スキルの修得

・外部公開データおよびIoT収集データを用いてデータ分析実践を行うことによる分析応用スキルの修得

◆授業計画

コマ	オンライン受講	フィールドワーク	授業内容
1	○Yes	×No	【導入】科目の目標、内容、評価方法説明
2	○Yes	×No	【業界知識①】 農産物市場の基礎
3	○Yes	×No	【業界知識②】 株式市場の基礎、気象データの基礎
4	○Yes	×No	【データ分析の基礎　復習】 データの種類と特性および代表的な分析手法
5	○Yes	×No	【時系列データ】 時系列データ分析①
6	○Yes	×No	【時系列データ】 時系列データ分析②
7	○Yes	×No	【気象データ分析】 温暖化予測
8	○Yes	×No	【気象データ分析演習】 熊本地方の温暖化予測と今後の農産物の植生変化
9	○Yes	×No	【株価データ分析】 株価予測
10	○Yes	×No	【株価データ分析演習】 短期的株価予測、長期的株価予測
11	○Yes	×No	【農産物データ分析】 農産物の収穫量予測
12	○Yes	×No	【農産物データ分析演習】 農産物の収穫量予測①
13	○Yes	×No	【農産物データ分析演習】 農産物の収穫量予測②
14	○Yes	×No	【まとめ1】 データ分析まとめ　課題説明
15	○Yes	×No	【まとめ2】 課題実施
16	○Yes	×No	【まとめ3】 課題発表
17	○Yes	×No	【導入】科目の目標、内容、評価方法説明
18	○Yes	×No	【IoT収集データ活用】 IoT収集データ分析例
19	○Yes	×No	【プロジェクト説明】プロジェクト目的と期待される効果
20	○Yes	×No	【プロジェクト1-①】 データ分析方法、システム検討
21	○Yes	×No	【プロジェクト1-②】 システム構築
22	○Yes	×No	【プロジェクト1-③】 データ収集
23	○Yes	×No	【プロジェクト1-④】 データ分析
24	○Yes	×No	【プロジェクト1-⑤】 データ分析まとめ
25	○Yes	×No	【プロジェクト2-①】 データ分析方法、システム検討
26	○Yes	×No	【プロジェクト2-②】 システム構築
27	○Yes	×No	【プロジェクト2-③】 データ収集
28	○Yes	×No	【プロジェクト2-④】 データ分析
29	○Yes	×No	【プロジェクト2-⑤】 データ分析まとめ
30	○Yes	×No	【まとめ1】 各プロジェクトの取り組み内容の整理、課題説明
31	○Yes	×No	【まとめ2】 課題実施
32	○Yes	×No	【まとめ3】 課題発表

成績評価基準	出席率_50%授業態度_20%レポート・提出物_20%小テスト・実技評価_10% ※中間試験_0%※期末試験_0%　**※通期科目は必ず前/後期それぞれで評価を行う事。**

※17～32コマが本事業での対象授業（後期実施分）

専門学校イデアITカレッジ阿蘇

学習支援計画書（シラバス）

作成日：2026年02月19日

授業科目名	データ分析とノーコード開発	授業コード	

講師名	小山 純市	授業形態	対面	単位数	2
対象学科	ITソリューション学科 専門科目	学年・時期	1年次 後期		

◆概要

データ分析とテーブル設計とノーコードCRUDをメインテーマとし、ノーコードでのシステム開発をおこなう。

◆到達目標

1. データ分析の基礎概念とデータ活用方法を理解する。
2. データベースのテーブル設計原則を習得し、実践に適用できる。
3. ノーコード開発ツールを用いてCRUDシステムを開発できる。

◆授業計画

コマ	授業内容
1	オリエンテーションと科目概要の説明
2	データと情報、データ分析の意義を理解する
3	データ収集の方法と情報の扱い方
4	収集データの整理と加工、基礎演習
5	データ可視化の基本とグラフの利用
6	データベースの基礎知識と種類
7	リレーショナルデータベースの概念とテーブル
8	テーブル設計の基本、正規化の概念
9	ER図を用いたテーブル設計実践
10	ノーコード開発の概要とメリット、ツール選定
11	CRUDの概念理解とシステム開発への適用
12	ノーコードツールでのテーブル作成、データ型設定
13	UI/UXの基礎とノーコードでの画面設計
14	データの登録（Create）機能の実装
15	データの表示（Read）機能の実装
16	データの更新（Update）機能の実装
17	データの削除（Delete）機能の実装
18	複数テーブルのリレーションシップ設定
19	フォーム入力とデータのバリデーション
20	ノーコードでの簡易な自動化とワークフロー
21	プロジェクト要件定義とシステム設計
22	チーム開発の基礎と役割分担
23	プロジェクト計画と進捗管理
24	データ分析結果に基づくシステム改善
25	ノーコードでの認証・認可機能の実装
26	デバッグとシステムテストの実施
27	ノーコードシステム構築演習（前半）
28	ノーコードシステム構築演習（後半）
29	プロジェクト成果発表会の実施
30	学習内容の総まとめと振り返り

◆成績評価基準

出席率50%／授業態度10%／レポート・提出物40%／小テスト評価0%／中間期末試験なし

◆使用する教科書・教材

◆受講生へのメッセージ/注意事項

出席率が3分の2に満たない場合、成績がつかない（不合格）となる可能性があります。

専門学校イデアITカレッジ阿蘇

学習支援計画書(シラバス)

作成日:2026年02月19日

授業科目名	業務アーキテクチャ設計	授業コード	

講師名	森田 典子	授業形態	対面	単位数	1
対象学科	ITソリューション学科 専門科目	学年・時期	1年次 後期		

◆概要

実務を可視化し、最適な仕組みを設計するアーキテクチャ設計を学ぶ。

◆到達目標

1. 業務の現状分析と課題特定能力の習得。
2. 業務要件に基づく効率的なシステムおよびプロセス設計知識の理解。
3. 業務アーキテクチャ設計手法とツールの実践的活用。

◆授業計画

コマ	授業内容
1	業務アーキテクチャ設計の概要と目的を学ぶ。
2	業務プロセスと現状フローの把握手法を学ぶ。
3	業務課題特定と要求定義の基本を理解する。
4	業務モデリングの目的とUMLの基礎を学ぶ。
5	ER図を用いたデータモデリングを実践する。
6	BPMNを用いたプロセスモデリングを実践する。
7	ユースケースによる機能要件設計を演習する。
8	非機能要件の定義と評価方法を理解する。
9	代表的なアーキテクチャスタイルを比較検討する。
10	システム構成要素の設計とインターフェースを学ぶ。
11	情報セキュリティ設計の基礎を理解する。
12	アーキテクチャ評価と改善の手法を学ぶ。
13	総合設計プロジェクトの計画と初期設計。
14	総合設計プロジェクトの詳細化と成果物作成。
15	プロジェクト成果発表と学習内容の振り返り。

◆成績評価基準

出席率50%／授業態度10%／レポート・提出物40%／小テスト評価0%／中間期末試験なし

◆使用する教科書・教材

◆受講生へのメッセージ/注意事項

出席率が3分の2に満たない場合、成績がつかない(不合格)となる可能性があります。

専門学校イデアITカレッジ阿蘇

学習支援計画書（シラバス）

作成日：2026年02月16日

授業科目名	生成AI利活用スキル	授業コード	

講師名	村上 大輔	授業形態	対面	単位数	1
対象学科	共通 専門科目	学年・時期	1年次 通年		

◆概要

生成AIの仕組みや基礎から学び、様々な生成AIツールに触れ、活用方法を学ぶ。授業の後半では、生成AIを活用した業務効率化についても学ぶ。

◆到達目標

1. 生成AIの基本的な仕組みや機能を理解すること
2. 主要な生成AIツールを状況に応じて適切に活用できること
3. 生成AIを活用した業務効率化の手法を実践すること

◆授業計画

コマ	授業内容
1	生成AIの概要と歴史、その可能性を理解
2	生成AIの基本的な仕組みと種類を学習
3	大規模言語モデル（LLM）の基礎知識と応用
4	テキスト生成AIツールの基本操作と特徴
5	効果的なプロンプトの書き方：基本原則
6	プロンプト作成演習：情報収集と要約
7	プロンプト作成演習：文章生成と校正
8	生成AI利用の倫理、著作権、留意点
9	情報の真偽確認とファクトチェックの重要性
10	生成AIのセキュリティとデータ保護の基礎
11	画像生成AIツールの概要と操作方法
12	画像生成プロンプトの作成と実践演習
13	生成画像の加工と調整の基礎技術
14	動画・音声生成AIの基本と活用事例
15	プロンプト応用技法：ペルソナ設定と役割付与
16	プロンプト応用技法：思考の具体化と制約設定
17	マルチモーダルAIの活用事例と応用
18	Web検索連携AIの機能と利用法を習得
19	生成AIツールの連携と自動化の基礎
20	RAG（検索拡張生成）の概念と応用
21	企画書、プレゼン資料作成への応用
22	議事録作成、メール文面作成の効率化
23	プログラミングコード生成とデバッグ補助
24	データ分析、レポート作成補助の実践
25	業務効率化シナリオの検討と設計
26	生成AI活用プロジェクトの企画立案
27	生成AI活用プロジェクトの実施と検証
28	生成AI活用による業務改善提案
29	生成AI活用プロジェクト発表会
30	学習内容の総括と今後の展望

◆成績評価基準

出席率50%／授業態度10%／レポート・提出物40%／小テスト評価0%／中間期末試験なし

◆使用する教科書・教材

◆受講生へのメッセージ/注意事項

出席率が3分の2に満たない場合、成績がつかない（不合格）となる可能性があります。

専門学校イデアITカレッジ阿蘇

学習支援計画書（シラバス）

作成日：2026年02月18日

授業科目名	生成AIソリューション	授業コード	

講師名	岩木 健・村上 大輔	授業形態	対面	単位数	1
対象学科	ITソリューション学科 専門科目	学年・時期	1年次 後期		

◆概要

AIを活用したシステム開発の手法と実際にソリューションの提案をおこなう。

◆到達目標

1. 生成AIの基礎知識と活用原理を理解すること
2. 生成AIを用いたシステム開発の一連の手法を習得すること
3. AIソリューションの企画、設計、提案ができること

◆授業計画

コマ	授業内容
1	生成AIの概要と基本概念の理解
2	生成AIの種類とそれぞれの特徴、活用例
3	生成AIがもたらす社会への影響と倫理
4	プロンプトエンジニアリングの基礎と実践
5	生成AIシステム開発のプロセス概論
6	大規模言語モデル（LLM）の活用手法
7	画像生成AIの活用と具体的な実践
8	生成AIとAPI連携によるシステム構築
9	既存のAIソリューション事例分析
10	課題特定とAIソリューションの要件定義
11	AIソリューションの企画立案とテーマ決定
12	ソリューションの設計と開発計画の策定
13	プロトタイプ開発と機能検証の実施
14	成果発表準備とプレゼンテーション技法
15	AIソリューション発表とフィードバック

◆成績評価基準

出席率50%／授業態度10%／レポート・提出物40%／小テスト評価0%／中間期末試験なし

◆使用する教科書・教材

◆受講生へのメッセージ/注意事項

出席率が3分の2に満たない場合、成績がつかない（不合格）となる可能性があります。

シラバス開発 (IT国際科目群)

専門学校イデアITカレッジ阿蘇

学習支援計画書（シラバス）

作成日：2026年02月13日

授業科目名	プレゼンテーション実習	授業コード	

講師名	松永 祐一	授業形態	対面	単位数	2
対象学科	IT国際学科科目	学年・時期	IT国際学科 全員 通年		

◆概要

専門学校や企業で不可欠な日本語でのプレゼンテーション（発表）能力を養います。内容の論理的な構成と明瞭なスピーキングに焦点を当て、繰り返し実践します。また、Google Slideを使用したスライド作成の基本操作を習得します。授業を通して、聴衆に内容を正確に伝える会話力と発表準備のスキルを統合的に向上させます。

◆到達目標

1. 論理的な構成に基づいたプレゼンテーションの企画・設計能力を習得すること。
2. Google Slideを用いた視覚的に効果的なスライド作成能力を習得すること。
3. 聴衆へ内容を正確に伝える明瞭なスピーキングと質疑応答の技能を養うこと。

◆授業計画

コマ	授業内容
1	授業概要の説明とプレゼンテーションの基礎理解
2	効果的なプレゼンテーションの要素と事例分析
3	発表の目的設定と聴衆分析の重要性
4	プレゼンテーションの基本的な構成（序論・本論・結論）
5	論理的思考、発表内容の組み立て方
6	Google Slideの基本操作とアカウント設定
7	テキストと図形の挿入、書式設定の基礎
8	画像や動画の挿入と効果的な配置
9	スライドデザインの原則、視覚効果の活用
10	データやグラフの効果的な見せ方
11	スライドマスターとテーマの活用方法
12	アニメーションと画面切り替え効果の適用
13	発表原稿作成の基本、キーワード利用
14	発声練習、話し方の基本、明瞭な発音
15	視線とジェスチャー、アイコンタクトの重要性
16	短時間プレゼンテーション実践（自己紹介）
17	短時間プレゼンテーション実践（テーマ発表）
18	発表へのフィードバックと改善、表現力向上
19	質疑応答の心構え、対応策の検討
20	プレゼンテーション計画作成演習
21	中間発表課題の説明と準備開始
22	発表構成の検討とスライド骨子の作成
23	スライド内容の詳細化、デザイン調整
24	発表原稿の完成とリハーサルの実施
25	中間発表会（個人発表）
26	中間発表の振り返りと課題分析
27	応用プレゼンテーション技術、グループ発表の導入
28	最終発表課題の説明と準備、質疑応答練習
29	最終発表会（総合プレゼンテーション）
30	授業全体の振り返りと学習成果の評価

◆成績評価基準

出席率60%／授業態度10%／レポート・提出物30%／小テスト評価0%／中間期末試験なし

◆使用する教科書・教材

◆受講生へのメッセージ/注意事項

出席率が3分の2に満たない場合、成績がつかない（不合格）となる可能性があります。

専門学校イデアITカレッジ阿蘇

学習支援計画書（シラバス）

作成日：2026年02月13日

授業科目名	ITと観光業界の基礎	授業コード	

講師名	前田 和則	授業形態	対面	単位数	2
対象学科	IT国際学科科目	学年・時期	IT国際学科 全員 通年		

◆概要

時事ニュースなどを題材にIT業界や観光業界、ビジネス全般に対する理解を深め、専門用語についても学ぶ。

◆到達目標

1. IT業界および観光業界の基本的な構造と現状を理解すること。
2. 両業界に関連する主要な専門用語とその意味を習得すること。
3. 時事ニュースを通じ、ITと観光がビジネスに与える影響を多角的に考察する視点の獲得。

◆授業計画

コマ	授業内容
1	授業オリエンテーション、本学での学び方
2	ITとは何か、ITの基本概念理解
3	IT業界の歴史と主な発展経緯
4	主要なIT企業と提供サービス概要
5	観光とは何か、観光の定義と多様性
6	観光業界の構造と主な事業者紹介
7	ビジネス基礎、経済ニュースの読み方
8	ビジネス関連用語と時事ニュース解説
9	ITと観光の連携、その可能性概要
10	ITと観光の専門用語基礎学習
11	デジタル変革（DX）が観光に与える影響
12	AI（人工知能）技術の観光分野への応用
13	IoT（モノのインターネット）による観光体験
14	VR/AR技術による仮想・拡張体験の創出
15	ビッグデータの活用と観光マーケティング
16	ブロックチェーン技術の観光への活用検討
17	オンライン旅行代理店（OTA）の役割とビジネスモデル
18	スマートツーリズムの概念と実現技術
19	モビリティ・アズ・ア・サービス（MaaS）と観光
20	SNSを活用した観光情報発信戦略
21	体験型観光の企画とITの役割
22	サステナブルツーリズムとITによる貢献
23	観光産業における課題とIT解決策検討
24	国際観光市場の動向とITの役割理解
25	地域活性化に向けたITと観光の連携事例
26	ITと観光の成功事例分析、考察
27	ITと観光の失敗事例分析、改善提案
28	グループワーク課題発表に向けた準備
29	グループワーク成果発表会、質疑応答
30	科目全体のまとめ、学習の振り返り

◆成績評価基準

出席率60%／授業態度10%／レポート・提出物30%／小テスト評価0%／中間期末試験なし

◆使用する教科書・教材

◆受講生へのメッセージ/注意事項

出席率が3分の2に満たない場合、成績がつかない（不合格）となる可能性があります。

専門学校イデアITカレッジ阿蘇

学習支援計画書(シラバス)

作成日:2026年02月13日

授業科目名	ビジネスコミュニケーション	授業コード	

講師名	松永 祐一	授業形態	対面	単位数	2
対象学科	IT国際学科科目	学年・時期	IT国際学科 全員 通年		

◆概要

企業でのインターンシップ参加や卒業後の就労を見据えて、ビジネスシーンにおける日本語や日本の商習慣、ビジネスマナーについて学ぶ。

◆到達目標

1. ビジネスシーンで必要な日本語表現と語彙の習得
2. 日本の商習慣と基本的なビジネスマナーの理解と実践
3. 多様な状況に応じた円滑なビジネスコミュニケーションの実践能力

◆授業計画

コマ	授業内容
1	ビジネスコミュニケーションの基礎概念
2	自己紹介と他己紹介の基本
3	敬語の基本原則と種類
4	正しい敬語の使い方と練習
5	報告・連絡・相談(報連相)の基本
6	身だしなみと清潔感の重要性
7	ビジネスシーンでの挨拶と表情
8	名刺交換の正しい方法
9	来客応対の基本動作
10	電話応対の基本フレーズ
11	電話応対の実践練習
12	ビジネスメール作成の基本
13	ビジネスメールの実践演習
14	スケジュール調整の基本
15	会議での発言と傾聴の技術
16	議事録作成のポイント
17	指示の受け方と確認
18	指示の出し方と依頼
19	訪問時のマナーと準備
20	お礼と感謝の表現
21	プレゼンテーション資料作成の基本
22	プレゼンテーション発表の技術
23	交渉の基本と戦略
24	クレーム対応の基本と心構え
25	チームでの協調と協力
26	プロジェクト推進のコミュニケーション
27	顧客との良好な関係構築
28	総合的なビジネスシーン実践演習
29	ビジネスコミュニケーション成果発表
30	学習の振り返りと自己評価

◆成績評価基準

出席率60%／授業態度10%／レポート・提出物30%／小テスト評価0%／中間期末試験なし

◆使用する教科書・教材

◆受講生へのメッセージ/注意事項

出席率が3分の2に満たない場合、成績がつかない(不合格)となる可能性があります。

専門学校イデアITカレッジ阿蘇

学習支援計画書（シラバス）

作成日：2026年02月13日

授業科目名	インターネットと情報リテラシー	授業コード	

講師名	松永 祐一	授業形態	対面	単位数	4
対象学科	IT国際学科科目	学年・時期	IT国際学科 全員 通年		

◆概要

専門学校の専門課程においてITやビジネスの専門科目を学ぶための基礎となるインターネットやIT全般における知識を学び、パソコンの操作やタイピング、ドキュメントの作成などの習得を目指す。Google Classroomも積極的に使用し、Google環境のアプリの使用を習得する。

◆到達目標

1. IT学習の基礎となるインターネットと情報技術の基本知識を理解すること。
2. パソコンの基本操作、タイピング、基本的なドキュメント作成スキルを習得すること。
3. Google Classroomをはじめとするgoogle環境のアプリケーションを効果的に活用すること。

◆授業計画

コマ	授業内容
1	授業ガイダンスと学習目標の理解
2	コンピュータの構成と基本操作の習得
3	OSとファイル・フォルダ管理の基礎
4	キーボードとマウス操作の習熟、タイピング基礎
5	インターネットの仕組みと歴史の理解
6	Webブラウザの種類と基本操作
7	検索エンジンの活用と情報探索
8	Webサイトの構成とURLの理解
9	電子メールの仕組みと利用方法
10	ネットワークの基本と種類を学ぶ
11	情報セキュリティの重要性と基本原則
12	著作権と情報倫理の基礎知識
13	デジタルデータの種類と特徴の理解
14	クラウドサービスの概念と利用価値
15	情報リテラシーの定義と重要性
16	Googleアカウントの作成と管理
17	Google Driveの基本とファイル管理
18	Google Docsでの文書作成と共同編集
19	Google Docs応用：書式設定と画像挿入
20	Google Sheetsでの表計算基礎
21	Google Sheets応用：グラフ作成とデータ整理
22	Google Slidesでのプレゼンテーション作成
23	Google Slides応用：効果的なスライド構成
24	Gmailの機能とメールマナーの理解
25	Google Calendarでのスケジュール管理
26	Google Meetでのオンライン会議参加
27	Google Formsでのアンケート作成
28	オンラインでの情報収集と評価方法
29	フェイクニュースと情報の信頼性判断
30	パスワード管理と多要素認証の利用

31	プライバシー保護と個人情報管理
32	デジタルデトックスと情報過多への対応
33	オンラインコミュニケーションのルール
34	ネットいじめとSNS利用の注意点
35	情報活用のための思考法を学ぶ
36	Google検索の応用テクニック習得
37	Googleマップの活用と情報探索
38	YouTubeの教育的利用とコンテンツ評価
39	タイピング練習と速度向上への取り組み
40	ドキュメント作成総合演習と発表
41	Google Classroomへの参加と利用方法
42	Google Classroomでの課題提出と管理
43	チームでのドキュメント共同編集の実践
44	Google Workspaceを活用したプロジェクト演習1
45	Google Workspaceを活用したプロジェクト演習2
46	プレゼンテーション資料作成と発表準備
47	プレゼンテーション実践とフィードバック
48	データ収集とGoogle Sheetsでの簡易分析
49	Webサイト情報の評価と引用方法の習得
50	情報発信の倫理と責任の理解
51	ITトラブルシューティングの基礎知識
52	バックアップとデータ復旧の概念
53	ポートフォリオ作成と自己アピール
54	最新のITトレンドと社会への影響
55	学習成果の振り返りと自己評価
56	総合演習：課題解決プロジェクト発表準備
57	総合演習：課題解決プロジェクト発表準備
58	総合演習：課題解決プロジェクト発表
59	総合筆記試験と実技試験の実施
60	学習のふりかえり

◆成績評価基準

出席率60%／授業態度10%／レポート・提出物30%／小テスト評価0%／中間期末試験なし

◆使用する教科書・教材

◆受講生へのメッセージ/注意事項

出席率が3分の2に満たない場合、成績がつかない（不合格）となる可能性があります。